

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	県央保健所	氏名	篠原 実佳子
派遣先 団体名	NPO法人 大田ルーテルラブリー児童クラブ		
<p>① 研修の日時 平成23年7月25日(月)・26日(火)・28日(木)・29日(金) 8月22日(月)・23日(火)・24日(水) 計7日間 それぞれ8:30～17:30(うち13:00～14:00休憩)</p> <p>② 研修の内容</p> <p>8:30出勤 ～10:00 夏休みの宿題をする時間 子供たちの横に座り、見守る。間違っていたり、問題が解けない時は、声をかけ一緒に考えてみる。</p> <p>10:00 おやつ時間 人数分のお菓子をお皿に入れる(子供たちも手伝う) 子供たちと一緒に話をしながら、おやつを頂く。</p> <p>～12:00 自由時間 本を読んだり、ピアノを弾いたり、パズルをしたり、AKB48のダンスをしたり、鬼ごっこをしたり、折り紙したり、子供たちの誘いで色々遊ぶ。 お父さんやお母さんの話、塾の話、姉妹の話など、何気ない会話が繰り広げられる。いたずらが過ぎる子供たちには、声をかけ落ち着いてもらう。</p> <p>12:00 お昼ごはん 作ってもらったお弁当をみんなで広げる。子供たちの横に座り、おかずの話に盛り上がる。みんな立派なお弁当。お母さんやお父さんの頑張りがよく分かる。そそがれる愛情がわかる時間でもある。</p> <p>13:00 プールの時間 庭のビニールプールで遊ぶ。子供たちのテンションあがる。傍らで様子を見守る。子供たちは体が冷えると、近くの鉄棒でくるくる回り、暖をとる。</p> <p>15:00 おやつ時間 暑い毎日なので、アイスを食べたりする。 お迎えを待つ おもちゃ等を片付け、部屋を整理整頓。みんなで行うとすぐに終わる。家族の迎えを待つ。お父さん、お母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、時にお兄ちゃんが迎えにくることもある。 みんな、うれしそうに帰っていく。 平均利用25人/日</p>			

③ 研修の感想

自分も子供を持つ身。近い将来お世話になる児童クラブの実態を拝見させていただき、考えることが多かった。

まず、指導員の方は、皆さんとても優しい。子供たちを頭ごなしに怒ったりすることはない。上下関係があまり強くないからか、子供たちからはニックネームで呼ばれている。

家のこと、友達のこと、子供たちが話すと相づちをうって、受け止める。

「それで、そのことを〇〇ちゃんはどう思ったの?」、子供たちはまた答える。

その子の気持ちの整理がされていく。まるでカウンセラーのよう。

親はとにかく忙しい。ゆったりと子供の声に耳を傾けること、大事だとわかっているけれど、これがなかなかできなかつたりする。

学校の先生では無く、親でも無く、自分のことを見守っている大人。

その存在は大きい。

子供同士でも、もちろん衝突がある。きちんとやりたい子、まあまあ出来ていればいい子。

力の強い子、涙がすぐに出てしまう子。たくさんの子供がいれば、一人として同じような子供はいない。だから、物事を同時にできない時だってある。いくら「遊び」でも本気ですから。相談したり、自分の意見を押しついたり引いたり、みんながそれでいいよと思うまで、やり方を考えてみる。そんな経験は子供のうちに「遊び」の中でたくさん積んだ方がよい。

誰でもいつか、自分の能力・努力だけでは、いかんともし難い経験をする。

落ち込んでしまったときに、また復活できる力。子供時代の積み重ねが大いに影響している気がしてならない。

子供の気持ちが安定していれば、親も安心して仕事に臨めるというもの。

単に「預かってくれる場所」というだけではない。

児童クラブの存在の大きさは、これからもっともっと増していくと感じられた7日間だった。

④ その他特記事項

子供たちが好きそうな遊び(特に大勢でできる遊び)を事前に習得しておく、もっと子供たちのお世話ができます。

子供が好きな人なら、楽しくてしょうがない毎日になるはずです。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。